

## <都市住民との交流に取り組む事例>

# ○畜産農家へのファームステイの受入れ

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>かわかみぐんしべちやちよう</small> 川上郡 <small>しべちや</small> 標茶町 標茶				
協定面積 25,660.5ha	田	畑	草地 (100%) 牧草	採草放牧地	
交付金額 39,990万円	個人配分			45%	
	共同取組活動 (55%)	集落協定の管理に係る支出			1%
		農業生産活動等に対する経費(多面的機能を増進する活動等)			10%
		農業生産活動等の体制整備に対する経費			43%
		その他の活動		1%	
協定参加者	農業者 326人、農業生産法人 22、利用組合 11、農業協同組合 3			開始：平成12年度	
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済み				

### 2. 取組に至る経緯

本集落では、第1期対策から、消費者に顔の見える農業者を目指し、道路沿いの畜舎屋根塗装や景観牧柵の整備、地域の清掃活動、地域花壇の設置など農村景観の維持・増進に取り組むとともに、計画的な草地更新など畜産経営の条件整備を行ってきた。

平成17年度からの第2期対策以降、これらの取り組みを継続する他、畜舎や牧草地を中心とした牧歌的な景観を生かして魅力ある地域づくりを目指し、都市住民との交流による農業の応援団づくりを進めるため、学校・近隣集落と連携した修学旅行生のファームステイ受入を行っている。

### 3. 取組の内容

神奈川県内の高校生の修学旅行を2泊3日で受入し、農作業体験などを行っている。これまで、延べ147戸の農家が各々2～3名程度を受け入れている。

(第2期対策 [H17～H21]：409名、第3期対策 [H22～H25]：214名)

また、平成19年度からは、近隣集落と連携して、修学旅行受入予定の高校の学校祭に参加し、標茶町農業や牛乳消費拡大のPRなど、生徒との交流に加え一般都市住民との交流も実施している。



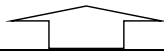
【修学旅行受入（農作業体験の様子）】



【学校祭交流事業（地場製品の販売）】

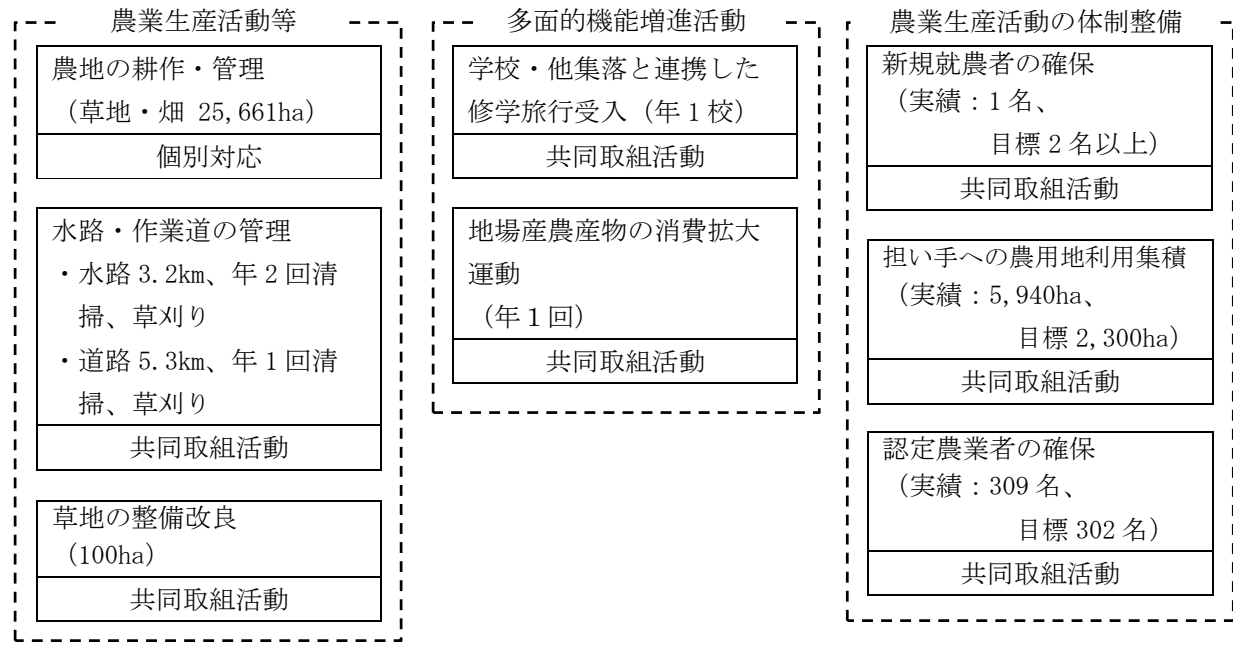
#### [集落の将来像]

- 認定農業者を核とした多様な経営体が共存する農業構造の確立と魅力ある地域づくりを目指す。



**[将来像を実現するための活動目標]**

- 農業生産条件の強化
- 新規就農者の確保
- 農業関係機関との連携による、認定農業者及び農業生産法人を中心とした担い手の確保と人材の育成
- 担い手への農地集積
- 土地資源に立脚した畜産業の推進及び裸地化の防止。
- 土、草、家畜の資源サイクルの確立、営農支援システムの活用等による効率的で安定的な農業の確立
- 生活環境の整備による活力と魅力のある地域づくり
- 農村景観を活かした消費者との交流



**[集落外との連携]**

- 近隣集落と連携した修学旅行生のファームステイや受入予定の学校での牛乳の消費拡大PR

**4. 今後の課題等**

高齢化による離農や経営規模拡大に伴う労働力不足が一層進み、現状の生乳生産量を維持することが難しくなっていくことが想定されることから、既に組織化されている酪農ヘルパー、コントラクター等と連携を図るとともに、更なる取組強化のための方策を検討していく。

**[第2期対策の主な成果]**

- 新規就農者の確保 (実績4名)
- 認定農業者の確保 (H17 257名→H21 298名)
- 担い手への農用地利用集積 (実績9,460ha 目標5,000ha)